

ゼカリヤ書 8 章 1-13 節 「真実と平和の都：ゼカリヤ」

“Zechariah: A City of Peace and Faithfulness”

(はじめに)

- コロナ感染症による緊急事態宣言が解除され、久しぶりに皆さんとこうして KDDI ホールに集まって礼拝できることは本当に嬉しいことです。ホームに帰った気持ちですね。しかし、よく言われることですが、コロナが収束しても、私たちの日常生活と社会は、前と同じように完全に元通りになるわけではありません。これからは、コロナ以前とは明らかに違った日常と社会生活にならざるを得ないということなのです。教会も同じでしょうか。
- 今日ご一緒に見ていく預言者はゼカリヤです。祖国に戻ったのに、すべてが元通り、一切がうまく行くわけではなく葛藤している人々に霊的刷新と将来の希望を語っています。新しい挑戦が必要でした。霊的に新しくされて将来の希望をしっかりと見なければ覚束なかったのです。それはコロナ禍の中で元通りにされることを望んでいる、私たちに映し出すかのようですね。

【ゼカリヤ書 8 章 1-13 節】

- 今読んだ 8 章はゼカリヤ書の前半の締めくくり、後半へのつながりの部分です。ゼカリヤが預言した内容は二つに要約できます。第 1 は、霊的な刷新と励ましです。特に神殿の再建工事に携わり、国を再構築しようとする人々が、霊的に新しくされて挑戦することができるように励ましています。
- そして後半 (9-14 章) では将来の希望を見せています。しかも、その希望はメシアの到来と神の国が実現される遠い将来にまで及んでいます。これが今日のメッセージの二つのポイントです。これらは私たちが今ここで生きるために、必要なことではないでしょうか。霊的な刷新と将来の希望です。

0. 預言者ゼカリヤ

- ゼカリヤという預言者は紀元前 6~5 世紀に活躍しました。バビロン捕囚から帰ってきた人たちと神殿再建~国の再建のために取り組みました。名前の意味は「主は覚えてくださる」。おそらく彼は祭司の家系です。同時代にハガイという預言者もいました。エズラ記 5 章 1-2 節。

5:1 さて、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤという二人の預言者は、ユダとエルサレムにいるユダヤ人に対して、自分たちの上におられるイスラエルの神の御名によって預言した。2 そこでシェアルティエルの子ゼルバベルと、エホツァダクの子ヨシュアは立ち上がり、エルサレムにある神の宮を建て始めた。神の預言者たちが一緒にいて、彼らを助けた。
- 実は神殿の再建工事は順調ではありませんでした。ペルシャ帝国の後ろ盾 (ダレイオス王、アルタクセルクセス王) がありましたが、妨害のために人々の士気が下がり、中断せざるを得ませんでした。

4:6 彼は私にこう答えた。「これは、ゼルバベルへの【主】のことばだ。『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』と万軍の【主】は言われる。
- ゼカリヤは帰還のユダヤ人たちを励まして、自分たちの力や知恵ではなく、神の御霊の力により頼むように励ましたのです。妨害や中断の苦難における秘訣は、主の御霊に信頼することなのです。

1. 霊的刷新

- そして先ほど読んだ 8 章に神の愛の宣言「ねたむほど激しく愛する」とありました。

8:2 万軍の【主】はこう言われる。「わたしは、シオンをねたむほど激しく愛し、激しい憤りをもってこれをねたむ。3 —【主】はこう言われる—わたしはシオンに帰り、エルサレムのただ中に住む。エルサレムは、真実の都と呼ばれ、万軍の【主】の山は、聖なる山と呼ばれる。

キリストを指し示す預言者 (15)

- 神殿再建に取り組む人々が絶えず神の愛によって新しくされ、励まされる必要があったように、皆さんの中で人生を再建したい、やり直したい、新しくしたいと思う方がいるならば、折れた心に神の愛を注いでもらいましょう。神の愛でアイデンティティを新たにしましょう。即座に最も必要なのは心の変革、霊的な刷新なのです。ねたむほど激しく愛される神との出会いです！
- 「ねたむほど愛する」というこのフレーズは（皆さんにも向けられているのですが）、旧約聖書にしばしば登場します。神とイスラエルの関係は夫と妻の關係に例えられています。イスラエルの罪と不信仰は、妻が夫を離れて不倫に走ることで描かれます。夫はねたむのです。激しく心を痛めて憤りさえ感じるのですが、愛しています！それは本物の愛、混じりけの無い純粹の愛です。
 - ビジネス雑誌「東洋経済オンライン」に「仕事人間ほど病気を機にうつに陥りやすい。失ったアイデンティティを取り戻すのは難しい。」という記事がありました。特に仕事や事業に時間や情熱を尽くしてきた人が、病気などのなんらかの理由で仕事や事業を続けられなくなってしまった場合を指しています。
 - 精神科医によれば、自分のアイデンティティの大部分を占めていたものを失うので、それを再構築するのは非常に難しいのだそうです。でもこのようなことは多くの人が直面するものです。病気だけではありません。仕事の失敗、人間関係のこじれ、自分の過ちと罪、パワハラ、セクハラ、離婚や死別…数々の試練や苦難が待ち構えています。だれもがアイデンティティを失い、落ち込み、うつになる可能性があります。
- それゆえ聖書は、すべての人に神の愛による心の刷新が必要だと言っています。私たちのアイデンティティを愛される者として再構築して、霊的に新しくされましょう。そして、神の愛に伴う憤りやねたみは、私たちが不信仰や罪を悔い改める必要があることを悟らせてくれます。ですから、あなたの新しさは悔い改めと信仰を持って神の愛に応答するまでは、リアルにはなりません。神の愛を受け入れ、悔い改めと信仰によって応答する時に、心が新しくなります。
- そのため何度も繰り返し神の愛のことばを聞いてください。ゼカリヤ書 8 章では「万軍の主はこう言われる」と 9 回も繰り返されています。それは人々が聞く耳が無く、霊的に鈍感だからです。何度も聞いて思いめぐらし、心に深く納得する必要があるからです。
- 皆さんにお勧めします。毎日聖書から神の愛のことばを聞いてください。主がともにいてくれるという宣言を思いめぐらしてください。時間をやりくりして、聖書の言葉を味わってください。
 - チャールズ・ハンメル Charles Hummel は「忙しい人の時間管理 Tyranny of the Urgent」の中で、イエスほど忙しい人はいなかったと書いています。彼の力と知恵の根源は神との対話、神が教えることにフォーカスした優先順位にあると言っています。そのためにイエスはいつも神との対話（聖書と祈り）の時間を優先していたのです。
- そして、私たちは神の愛をコミュニティにおいて励ましてもらい、確認する必要があります。

8:4 一萬軍の【主】はこう言われる—再び、エルサレムの広場に、老いた男、老いた女が座り、みな長寿で手に杖を持つ。5 都の広場は、男の子と女の子でいっぱいになる。子どもたちはその広場で遊ぶ。
- これは再建されるエルサレムだけではなく、今のクリスチャンコミュニティとやがて訪れる神の国のイメージです。私たちはコミュニティにおいて神の愛のリアリティを経験します。コミュニティ抜きでは、神の言葉の真実を経験的に味わうことができないのです。福音の素晴らしさは関係とコミュニティにおいて実を結びます。霊的な刷新と神の愛はコミュニティを通して自分のものにされます。
- 神の愛の喜びと楽しさを経験したいですか？コミュニティにコミットしてください！しかしそのためには、熱心である必要があります。コミグルのリーダートレーニングマニュアル。

私たちは極端な個人主義を推奨する文化の中で生まれているので、精力的にコミュニティ・ライフに参加する能力は著しく低下しています。ともに生きていく生活や人生に必要な筋肉は衰弱し、衰えてしまっています。…（しかし）コミュニティが全くないよりも、小さくて未熟でもコミュニティがある方が良いのです。多く行えば

キリストを指し示す預言者（15）

行うほど、私たちはより良く成長していくでしょう。私たちは神の新しいコミュニティとなるために、必要な筋肉を鍛えるべく再献身しなければなりません。

2. 将来の希望

- 皆さん、このようにねたむほど激しい神の愛によって愛され、霊的に新しくされていくなら、どんな将来を待ち望むことができるでしょうか？ゼカリヤ書から3つのこととお話したいと思います。神との親しい関係、実りのある生活、真実と平和です。
- 8節に「彼らはわたしの民となり、わたしは真実と義をもって彼らの神となる。」とあります。このフレーズは聖書全体に繰り返されています。神のグランドデザインの中心にあるのは、神との親しい愛と信頼の関係です。神との親しい関係の成熟と成長が必要なのです。
- この生きた関係からすべての良いことが流れ出てきます。それゆえ、神殿再建の励ましに次いで、実りのある新生活の祝福を語っています。

8:12 それは、平安の種が蒔かれ、ぶどうの木が実を結び、地が産物を出し、天が露を滴らすからだ。わたしはこの民の残りの者に、これらすべてを受け継がせる。13 ユダの家よ、イスラエルの家よ。…わたしはあなたがたを救う。あなたがたは祝福となる。恐れるな。勇気を出せ。」

- ここから分かるように、皆さんの仕事や家庭生活が重要なのです。神は私たちの仕事を通して祝福をもたらそうとしています。仕事は単なる金儲けや生計のためではありません。聖書を通して、仕事の本質を神中心に見直しましょう。あなたの仕事は神の祝福をもたらす、隣人愛を行うことです。
- あなたが働くとき、神も一緒に働いています。私たちはどうしても仕事に優劣をつけて、妬みや自己嫌悪をいだいたり、プライドや横柄な態度になったりしてしまいやすいです。たとえば主婦／主夫がする家事や育児も正統的な仕事で、この世界に神の祝福をもたらす立派な仕事と見るべきです。家事や育児は一説によると年収（幅がありますが）500万～1000万円の仕事に匹敵するそうです。
- そして3番目にゼカリヤは、罪、抑圧、不正、搾取のはびこる社会に、真実と平和がもたらされる希望を語っています。社会正義の実現は神の望みであり、十字架の福音から生み出される期待です。

8:16 これがあなたがたのなすべきことだ。あなたがたはそれぞれ隣人に対して真実を語り、真実と平和をもたらす公正さをもって、あなたがたの門の中でさばきを行え。17 互いに心の中で悪を謀るな。偽りの誓いを愛するな。これらはみな、わたしが憎むものだからだ。——【主】のことば。

- しかしながら、いつ実現されるのでしょうか。預言者が語る将来の希望は絵に描いた餅にすぎないのでしょうか。預言者は神の言葉（約束）の確かさを歴史的事実に即して語っています。

8:19 万軍の【主】はこう言われる。「第四の月の断食、第五の月の断食、第七の月の断食、第十の月の断食は、ユダの家にとって、楽しみとなり、喜びとなり、うれしい例祭となる。だから、真実と平和を愛しなさい。」

- ここで言われている第4、5、7、10月の断食は宗教的な行為ではありません。BC.6世紀半ばにバビロン帝国のネブカドネツアル王が侵略して、エルサレムを包囲し、兵糧攻めにして食糧難に陥らせ、ついにエルサレムを陥落させて、指導者を殺害したことを言っています。しかし、神はイスラエルをバビロンから救い出し、エルサレムに連れ帰って、喜びと楽しみを与えてくださったのです。

- さらにゼカリヤはやがて来る救い主キリストを指し示して、こう言っています。

8:20 万軍の【主】はこう言われる。「再び諸国の民がやって来る。多くの町々の住民が。21 一つの町の住民はもう一つの町へ行き、『さあ行って、【主】の御顔を求め、万軍の【主】を尋ね求めよう。私も行こう』と言う。22 多くの国の民、強い国々が、エルサレムで万軍の【主】を尋ね求め、【主】の御顔を求めるために来る。」

- 異邦人たちが主を尋ね求め、主の御顔を見るためにやって来るのです。イエスは、過越しの祭りに来

キリストを指し示す預言者（15）

ていた数人のギリシャ人たちが、弟子たちを通してイエスに会いたいと言ってきたときに、ゼカリヤの預言の成就を次のように宣言しました。

12:23 すると、イエスは彼らに答えられた。「人の子が栄光を受ける時が来ました。24 まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。

- ゼカリヤはイエスが救いを成し遂げるためにエルサレムに来るとき、ロバの子に乗ってくること（9:9-10）、イスカリオテのユダが銀貨 30 枚で裏切ることも預言しています（11:12-13）。
- ですから最後に言いたいことは、霊的刷新を経験し、神がもたらす祝福のうちに人生を再建したいなら、イエスを尋ね求め、イエスの御顔を見つめることです。ねたむほど激しい神の愛は、一粒の麦となって死なれたイエスの十字架に実現しました。旧約聖書では何度も言葉で言われましたが、遂にイエスは、十字架の痛みと苦しみと自己犠牲の死によって、ねたむほどに激しい愛を注がれたのです。ハレルヤ！救い主イエスをほめたたえましょう！

（祈り）

天のお父さま。聖なる御名をほめたたえます。あなたがねたむほど激しい愛で私たちを愛して下さることを感謝いたします。愛されている者としてのアイデンティティをもって歩めるように導いてください。イエスの十字架にあらわされたねたむほどの激しい愛を感謝いたします。正直に罪を悔い改め、救い主イエスを信じて、いつも霊的に新しい歩みができますよう導いてください。心にある願いと求めが、あなたのみこころにかなうものでありますように。どうぞ私たちを福音によって成し遂げられる平和と真実をもたらすために聖霊によって用いてください。主イエスによって。アーメン。

キリストを指し示す預言者（15）

【ゼカリヤ書 8 章 1-13 節】

8:1 次のような万軍の【主】のことばがあった。

8:2 万軍の【主】はこう言われる。「わたしは、シオンをねたむほど激しく愛し、激しい憤りをもってこれをねたむ。

8:3 —【主】はこう言われる—わたしはシオンに帰り、エルサレムのただ中に住む。エルサレムは、真実の都と呼ばれ、万軍の【主】の山は、聖なる山と呼ばれる。

8:4 —万軍の【主】はこう言われる—再び、エルサレムの広場に、老いた男、老いた女が座り、みな長寿で手に杖を持つ。

8:5 都の広場は、男の子と女の子でいっぱいになる。子どもたちはその広場で遊ぶ。

8:6 —万軍の【主】はこう言われる—もし、これがその日に、この民の残りの者の目には不思議に見えても、わたしの目には、不思議に見えるだろうか。—万軍の【主】のことば。」

8:7 万軍の【主】はこう言われる。「見よ。わたしは、わたしの民を日の出る地と日の沈む地から救い、

8:8 彼らを連れ帰り、エルサレムのただ中に住ませる。このとき、彼らはわたしの民となり、わたしは真実と義をもって彼らの神となる。」

8:9 万軍の【主】はこう言われる。「勇気を出せ。万軍の【主】の家である神殿を建てるために基が据えられた日以来、あなたがたはこれらのことばを、預言者たちの口から聞いてきたではないか。

8:10 その日以前は、人の働きに報酬がなく、家畜の働きにも報酬がなかった。出て行く者にも、帰って来る者にも、敵がいるために平安がなかった。わたしがすべての人を互いに争わせたからだ。

8:11 しかし今、わたしはこの民の残りの者に対して、かつての日々のようではない。—万軍の【主】のことば—

8:12 それは、平安の種が蒔かれ、ぶどうの木が実を結び、地が産物を出し、天が露を滴らすからだ。わたしはこの民の残りの者に、これらすべてを受け継がせる。

8:13 ユダの家よ、イスラエルの家よ。あなたがたは国々の間でのろいとなったが、同様に、わたしはあなたがたを救う。あなたがたは祝福となる。恐れるな。勇気を出せ。」